

近 畿 地 方 整 備 局
資 料 提 供

発表日時	平成14年6月14日 14:00
------	---------------------

件 名	近畿のみちを考える懇談会（第3回）を開催します
-----	-------------------------

概 要	わが国の経済社会情勢や国民意識が大きく変化している今日、道路に求められるサービスについて原点に立ち返って検討すべきとの認識のもと、近畿のみちづくりについて、専門家や有識者の方々から幅広い提言を頂くために「近畿のみちを考える懇談会」を開催しますのでお知らせします。
-----	---

取 り 扱 い	テレビ・ラジオ : _____ 新 聞 : _____
---------	--------------------------------

配 布 場 所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
---------	-----------------------

問 い 合 わ せ 先	近畿地区幹線道路協議会 (事務局：近畿地方整備局 道路部 道路計画第二課) 課長 市川 晴雄 (内線 4251) 課長補佐 橋本 拓己 (内線 4252) 電話：06-6942-1141 (代表)
-------------	--

近畿のみちを考える懇談会について

目的

- 近年の経済低迷とこれに起因する財政制約に加え、少子高齢化の進展、経済・産業の空洞化、地球規模での環境問題、情報技術の飛躍的な発展等大きな潮流の転換期にあり、戦後構築された経済社会システムのあり方そのものが問われています。
- また、国土の有効利用・適正管理という観点では、全国画一的との批判があり、身近な暮らしの質の向上や地域の選択による個性ある地域形成を重視する傾向が顕著となってきているなど、国民意識も大きく変化してきてます。
- これまでも、道路の整備により暮らしが変化し、また暮らしの変化が道路に更なる高度な役割やサービスを要求するなど、暮らしと道路が相互に密接に関係しあってきたところですが、経済社会情勢や国民意識が大きく変化している今日、道路に求められるサービスについて原点に立ち返って検討すべき時期にあると言えます。
- 以上のような認識を踏まえ、みちづくりについて、専門家や有識者の方々から幅広い提言を頂くために「近畿のみちを考える懇談会」を開催します。

懇談会メンバー

【別紙1】

開催予定

- 第1回 平成14年4月16日(火) 13:00~15:00
 - 第2回 平成14年5月28日(火) 10:15~12:15 【別紙2】
 - ◎ 第3回 平成14年6月17日(月) 14:15~16:15
- 開催会場：新大阪ワシントンホテルプラザ 老松・若竹の間
大阪市淀川区西中島5-5-15 住友生命新大阪ビル北館2F
TEL: 06(6303)8111

取材、傍聴

当日は記者席を設けております。受付に名刺をお渡しください。

主催

近畿地区幹線道路協議会

(近畿地方整備局、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、神戸市、JH関西支社、阪神公団、本四公団)

近畿のみちを考える懇談会 名簿

氏 名	所 属
飯田 恭敬	京都大学 大学院工学研究科 教授
井戸 智樹	歴史街道推進協議会 事務局長
上村 多恵子	(社)京都経済同友会 常任幹事
竹中 ナミ	社会福祉法人 プロップステーション 理事長
田中 英俊	関西広域連携協議会 事務局長
橋詰 武宏	福井新聞社 論説委員長
林 宜嗣	関西学院大学 経済学部長
原 慶文	滋賀県病院協会会長(長浜赤十字病院院長)
古田 皓	テレビ和歌山 報道局長
横村 久子	京都女子大学 現代社会学部 教授

第2回 近畿のみちを考える懇談会

別紙2

概 要

平成14年5月28日(火) 10:15~12:15

ホテルグランヴィア京都 3階 源氏の間

座長	○ 飯田 恭敬	京都大学大学院工学研究科 教授
委員	○ 井戸 智樹	歴史街道推進協議会 事務局長
委員	○ 上村 多恵子	社団法人京都経済同友会 常任幹事
委員	○ 竹中 ナミ	社会福祉法人プロップステーション 理事長
委員	○ 田中 英俊	関西広域連携協議会 事務局長
委員	○ 橋詰 武宏	福井新聞社 論説委員長
委員	林 宜嗣	関西学院大学 経済学部長
委員	○ 原 慶文	滋賀県病院協会会長(長浜赤十字病院院長)
委員	○ 古田 皓	テレビ和歌山 報道局長
委員	○ 横村 久子	京都女子大学 現代社会学部 教授

(五十音順・敬称略、○：ご出席頂いた委員)

■「道路構造とネットワーク」をテーマに討議が行われました。

【討議要旨は以下の通り】

- 高度消費社会への社会の変化とこれからの社会資本整備のあり方
- 道路特定財源について
- 防災ミュージアム——地域・ITSシステム構想
- ユニバーサルとは、全ての人が、目標や目的を持って力を発揮できること
- ユニバーサルについてもっと総合的に考えることが必要
- 地球環境問題と高齢化社会での道路のあり方
- 都市構造から考えた道路のあり方
- 歩行者、自転車の安全を確保するみちづくりが必要
- 自転車の乗り方のルールを徹底することが必要
- 交通事故など緊急事態への対応策が必要
- 生活の24時間化、国際化により防犯対策も重要になる
- 雪寒対策を充実する必要がある
- 「つくる」と「管理」を一体的に考えることが必要——路上駐車問題など
- 近畿にとって望ましいネットワークをいかに作りあげるかが大事
- 高速道路の構造も柔軟に考えることが必要
- 高速ネットワーク整備の優先順位、評価項目を広く、オープンに検討すべき
- 有料道路制度の再考が必要